

「まちに残るゆかりの地」

# 綾部と明智光秀



(岸和田市本徳寺 所蔵)

1月19日から、大河ドラマ「麒麟がくる」が始まりました。主人公の明智光秀は「本能寺の変」で主君・織田信長を討ったことで有名な、戦国時代の武将です。光秀は信長に命じられ、天正3(1575)〜7(1579)年、丹波(現在の綾部市、福知山市、亀岡市、南丹市、京丹波町、京都市右京区京北、丹波篠山市、丹波市)に侵攻。本市とも関わりのある人物です。本号では、本市の明智光秀ゆかりの地を紹介します。

## ①甲ヶ峯(山家)城(広瀬町)

城主だった和久左衛門佐は、山家に進撃してきた明智軍に降伏。城を壊す条件で許されました。しかし、城内に照福寺があったので、城ではなく寺だと言って取り壊さなかったため、天正8(1580)年、光秀の軍に攻め落とされました。

甲ヶ峯城跡には、現在の山家城址公園近くの伊也神社から登ることが出来ます。山道や案内板が整備されているほか、土塁や空堀が当時のまま残っています。

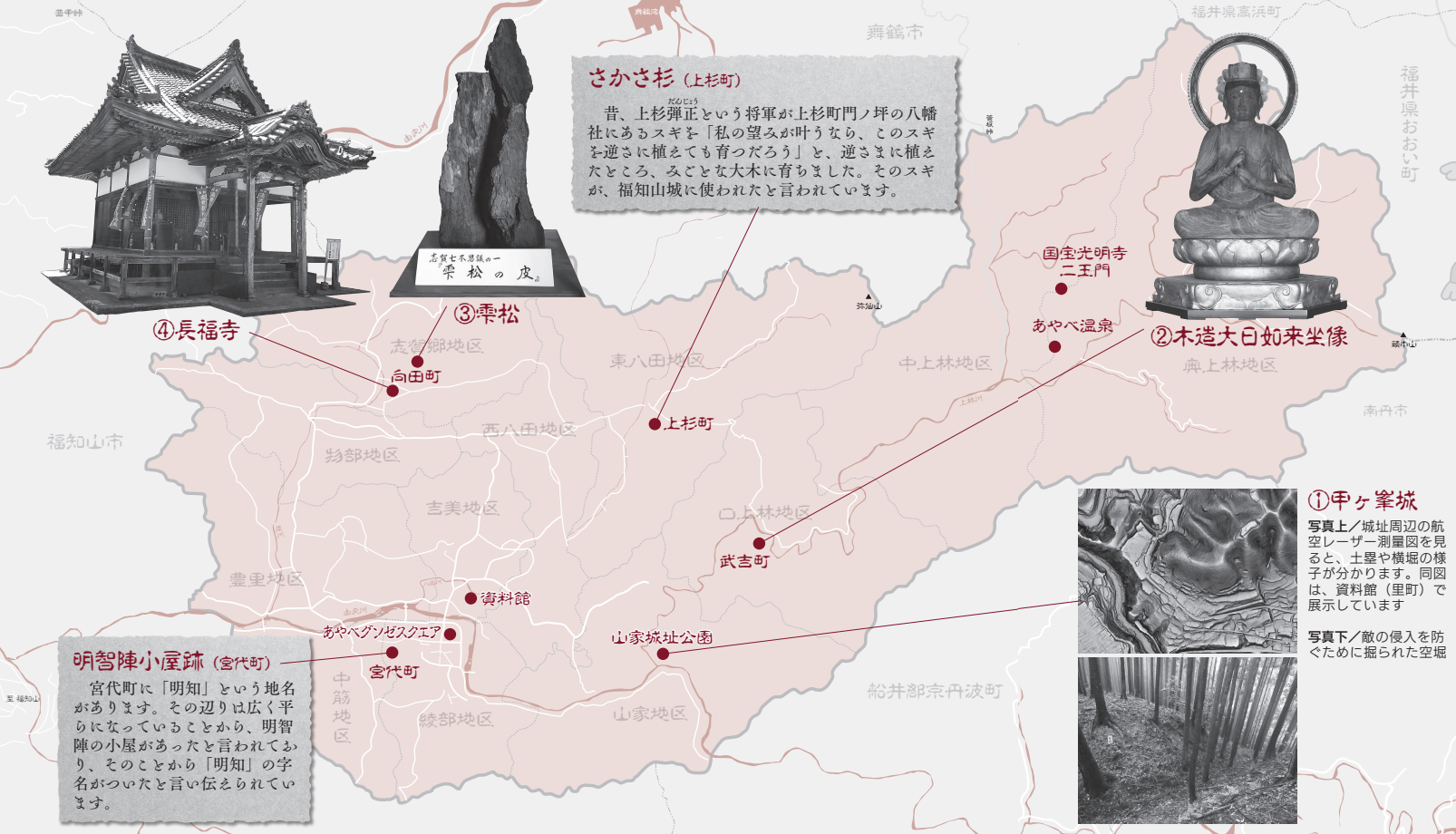
## ②木造大日如来坐像(武吉町)

この像はもともと、武吉町の山奥にあった薬師寺に祭られていました。光秀が福知山

城を築くとき、材料としてその建物を壊して運びました。残されたこの像は、村人たちが大切に保管。現在は、武吉町の玉泉寺に祭られており、市指定文化財になっています。

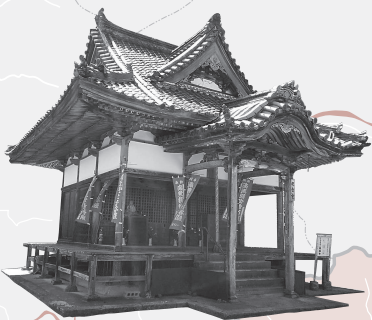
## ③向田の里の栗松(向田町)

志賀郷七不思議のひとつである「栗松」が、光秀が築いた福知山城の天守閣の棟木に使用されています。棟木にそのことが記してあり、明治初めに志賀郷村へ引き取りの申し入れがありました。しかし、多額の運送費が掛かるため、そのままになったと言われています。現在、志賀郷町の志賀郷公民館で栗松の皮の一部が保管されています。厚さが10センチほどもある、巨大な松皮です。



## さかさ杉(上杉町)

昔、上杉弾正という将軍が上杉町門ノ坪の八幡社にもスギを「私の望みが叶うなら、このスギを逆さに植えても育つだろう」と、逆さまに植えたところ、みごとに大木に育ちました。そのスギが、福知山城に使われたと言われています。



## ④長福寺

## 明智陣小屋跡(宮代町)

宮代町に「明知」という地名があります。その辺りは広く平らになっていり、明智陣の小屋があったと言われており、そのことから「明知」の字名がついたと言われている。

## ゆかりの地を巡って当てよう! スマホdeスタンプラリー

本市が参加する、大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会などは、ドラマに登場する人物のゆかりの地を巡る、スタンプラリーを実施しています。インターネットサイトにアクセスし、設定されたコースを観光してスマートフォンでスタンプを集めると、各地の特産品などが抽選で当たります。

現在、綾部市のコースをはじめ、同協議会に参加する11市町の全11コースがあります。ぜひご参加ください。

### 綾部市コース

山家城址公園(広瀬町)、あやべグンゼスクエア(青野町)、あやべ温泉(睦寄町)、国宝光明寺二王門(睦寄町)、資料館(里町)



## ④長福寺(向田町)

光秀が、家来の岡部山城守に別所町の願成寺を討滅させ、その褒美として同地の霊仏観音像を与えました。山城守がこれを持ち帰る途中に長福寺で休憩したところ、観音像はびたりと動かなくなり、自身も身動きできなくなりまし

た。山城守はこの地に観音像を安置し、自らも寺に仕えたと言いつづけています。現在は「向田の観音さん」として親しまれています。

この地に伝わる「向田観音音頭」は、光秀が歌いだしたのが始まりと言われる「福知山音頭」の16手のうち、6手と同じです。このことから、光秀とゆかりがあったと考えられます。

令和2年度  
会員募集

## ふるさとの応援団

# “あやべ特別市民制度”

本市出身者やゆかりのある人などに、綾部市の応援団になっていただく「あやべ特別市民制度」。会員には、特産品の詰め合わせなど「ふるさとの味」とともに、会報やメールマガジンで市の情報を届けています。本年度の会員は約1,900人に上り、特産品の生産は地域の活性化につながっています。ぜひ制度に加入し、友人などにも応援の輪を広げませんか。



**年会費 1万円**

(募集チラシに付属の振込用紙で、郵便局・金融機関で支払えます。ホームページからクレジットカード決済も可能です)

**会員期間 令和2年4月1日  
～令和3年3月31日**

- 特典1** 綾部の特産品を年3回送付
- 特典2** 市内飲食店の割引券、市内施設の利用券を送付
- 特典3** 会報、市広報紙ねっと、メールマガジンでふるさとの様子をお届け
- 特典4** ふるさとカレンダーを送付

## 会員からのメッセージ

丹精込めた新米が届き、秋の到来を実感しました。

父の故郷の変わらないやさしさに癒されています。



なつかしい風景と生産者の姿が目に浮かびます。

新米や地酒、農産加工品など心の込められた産品を選ぶ楽しみも

## 応援方法はいろいろ

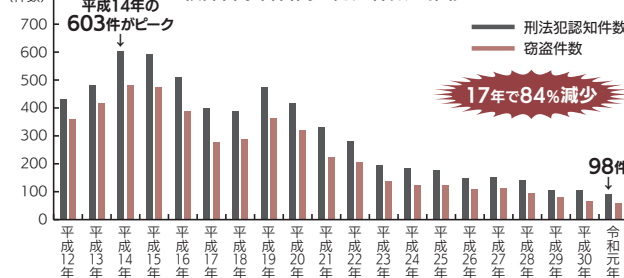
紹介者が会費を負担し、友人への贈り物やお子さんへの仕送りにいかがですか。また、同窓会の予定があれば、ご一報ください。制度の案内をお届けします。

<申し込み・問い合わせ>

秘書広報課 ☎(42)4204 📠(42)4905  
ホームページ:「あやべ特別市民制度」で検索するか右のQRコードから



綾部警察署管内の認知件数の推移



上グラフ:平成12年以降の認知件数と窃盗件数の推移。窃盗の割合が高いことが特徴です

右表:昨年の認知件数と罪名別の内訳

罪名	件数	罪名	件数
窃盗	58	暴行	5
自転車盗	19	公然わいせつ	3
侵入盗	7	公務執行妨害	3
万引き	6	傷害	2
車上ねらい	5	強制わいせつ	1
その他	21	住居侵入	1
器物破損	11	その他	3
詐欺	5	合計	92

地道な活動で犯罪抑止に成功  
認知件数とは、警察などの捜査機関が、窃盗や詐欺、暴行などの刑法犯罪を確認した件数のこと。平成14年の603件をピークに減少しています。これは、綾部警察署による警戒・検挙活動の強化のほか同警察署と市や関係機関、ボランティアの団体・個人などが連携した▽自転車盗の盗難や振り込め詐欺防止の啓発▽青色防犯パトロールⅡ本紙12月号参照▽防犯カメラの設置▽フルディックウォークなどのウォーキングの最中や仕事をしながら見守り活動を行う「ながが見守り」の推進活動の成果の現れです。



警察官らが特殊詐欺の注意を呼び掛けました

# キーワードは鍵かけ! 犯罪ゼロを目指して

昨年の綾部警察署管内の刑法犯認知件数(以下、認知件数)は92件で、前年の107件から大きく減少しました。今年の防犯のキーワードは「鍵かけ」。家や自転車などの鍵かけを徹底し、犯罪を未然に防ぎましょう。

## 犯罪抑止のポイント

認知件数92件のうち、6割を超える58件が窃盗です。この中で、自転車の盗難が19件と最も多く、そのうち16件が無施錠でした。窃盗のうち2番目に多かったのは、自宅や事務所など建物に侵入し、金品を持ち去る侵入盗の7件です。人が居る建物に侵入されたケースも、侵入者と鉢合わせると重大な犯罪に巻き込まれる恐れもあります。このほか、車上ねらいは5件発生しましたⅡ上表。

防ぐことができた可能性が高い事件が大半であるということ。少しの間でも油断せず、自転車などの乗り物や建物の鍵かけを徹底しましょう。  
**積極的に防犯活動へ参加を**  
綾部警察署は、鍵かけのほか▽見守り運動や青色防犯パトロールなど、防犯活動への積極的な参加▽防犯・犯罪情報メールを活用した情報収集▽防犯カメラ、センサーライトの設置▽呼び掛けについて、犯罪者が寄りつかないため、安全・安心なまちづくりのため、これらの活動にご協力ください。

## 安全・安心のまち 綾部をつくりましょう!



綾部警察署生活安全課 課長 岡本 敦さん

昨年は、皆さまのご協力のおかげで、認知件数が大きく減少しました。しかし、究極の目標は「犯罪ゼロ」です。綾部警察署は、これからもさまざまな防犯対策を実施します。皆さまも鍵かけの徹底と、防犯活動への積極的な参加をお願いします。



## 夢なき者に成功なし

シユリストの作成を促した。ウィッシュ(Wish)とは願望とか夢を意味する。10や20程度でなく、50、100に及ぶリストを挙げることに、願いの本質に迫る途を拓こうという試みである。

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。これは幕末、長州の思想家・教育者である吉田松陰の言葉で、彼の私塾「松下村塾」には伊藤博文や山縣有朋など、明治維新で活躍する多くの若者が学んだ。

今年、本市は市制施行70周年という節目を迎えるが、これからの市政運営のビジョンとなる第6次総合計画を策定する年でもある。その年頭の職員訓示では松陰の名言を引用し、夢を成就する手段として「ウィッ

令和新时代は今までの延長線ではなく、人口減少や少子高齢化、財政危機、地球温暖化など、かつて経験したことのない領域に踏み込むことになる。後世が下す歴史の評価に留保しつつも、従来懸念されていた不安が、大いなる闘いとして顕現する時代に突入したともいえる。だが、どんな状況であっても我々はこの大切な故郷を守り、次の世代に繋いでいかなければならない。一人一人の夢や希望を叶えられるまちづくりに努めなければならない。そのために先ずは、現代の松下村塾を思い描き、夢をいつか見届けることから始めてみたい。

山崎善也(綾部市長)



## 元気に「心の鬼退治」

物部町の物部保育園（谷口留美子園長、園児58人）は節分の日の2月3日、豆まきを行いました。赤・青・黄色の鬼が勢いよく現れると、怖くて逃げ出す園児も。全員で勇気を出して「鬼は外、福は内」と元気に声を上げながら豆をまき、鬼を追い払いました。

## 新たな会場で初めての出初式

市は1月12日、あやべ・日東精工アリーナ（西町三丁目）で令和2年綾部市消防出初式を開催。消防本部や消防団の893人が参加しました。同アリーナ駐車場では、消防団や青少年消防クラブ、防火防災協会などが分列行進と車両パレードを実施。その後、由良川左岸堤防・東綾公園（川糸町）に会場を移し、儀式放水を行いました。



## クイズで防災の知識を深めよう! 非常食プレゼント

市は本紙令和2年3月号までの毎月「焼きいも缶詰(85g)」のプレゼントクイズを実施しています。応募者の中から抽選で、缶詰2缶を毎月5人にプレゼントします。ふるってご応募ください。  
※当選者の発表は、商品の発送・当選連絡をもって代えさせていただきます。

### 今月のクイズ

強い風が吹いたときの対策として、正しくないものはどれでしょう。

- ① 雨戸やカーテンを閉める
- ② 植木鉢などを屋内に移動する
- ③ 窓を開ける

応募方法：クイズの答えと住所、氏名、年齢、電話番号、今月の広報紙の感想、商品の受け取り方法（市役所で受け取りか郵送）を記入の上、郵送かメール、ファクスで秘書広報課へ

応募締切：3月10日（火）必着

宛先：〒623-8501 綾部市若竹町8-1  
綾部市役所秘書広報課  
ねっと2月号防災クイズ係

メール：hisuyokoho@city.ayabe.lg.jp  
ファクス：(42)4905

<問い合わせ> 同課 ☎(42)4205

### 1月号の答え

③飾りのストラップ  
懐中電灯に蓄光テープを付けておくと、停電時でも探しやすいです。蓄電の電池も用意しておきましょう。

## 市立病院に新任医師



市立病院（高升正彦院長）の泌尿器科に2月1日、医師が新たに赴任しました。着任に当たり「頻尿や排尿障害など、生活の質に関わる疾患から前立腺や腎臓、ぼうこうなどの悪性疾患まで、幅広く診療しています。地域の皆さんの医療に貢献できるよう尽力します」と話す蒲田勇介医師。月・水・金曜日の診療を担当します。

## 市展賞作品

### 日本画の部

#### 「陽光」

藤田美美子（神宮寺町）

講評 樹林の中の一木を画面中央に入れた大胆な構図と光の表現に、作者の想いを感じます。幹の墨のタッチも効果的です。



### 洋画の部

#### 「野良連組合遊び隊」

加藤友子（福知山市）

講評 アイデアと技術があり、さまざまな猫の動きや構図を感じました。繊細に富み、あらゆる生命への賛歌を表現しており、特に輝いていました。

### 書の部

#### 「南郡の歌」

谷口光昭（福知山市）

講評 単体でありながらリズム良く展開させ、うまく構成しています。伸びやかで穏やかな線は熟練の味を醸し出す、スマートで上品な作品です。

### 写真の部

#### 「無限の彼方へ」

松岡秀雄（舞鶴市）

講評 画面下の葉がかりうじて、現実世界に繋ぎ止めてくれるような不思議な世界観が魅力的です。自然のエネルギーや生命力が表現できています。



# 第36回 綾部市美術展

市は1月30日～2月2日、西町三丁目のあやべ・日東精工アリーナで「第36回綾部市美術展」を開催し、延べ2557人が来場しました。本年度から「アートフェスタ」を同時に実施。市内の園児や学生などの作品を展示しました。

## 市内外の力作261点並ぶ

本年は市内外の198人から作品261点が寄せられ、4部門（書、洋画、日本画、写真）で審査。市展賞4点、特選11点、奨励賞16点の計31点が入賞しました。市展賞を除く各賞の受賞者は次の皆さんです（順不同、敬称略）。

**特選**【書】岩崎久美子（綾中町）、高田あゆみ（志賀郷町）、高橋一真（延町）、【洋画】四方静子（白道路町）、【日本画】榎田直子（有岡町）【写真】梅原隆（上野町）、河北ひさ子（向田町）、鈴木隆（岡町）、山口健治（青野町）、因幡孝一（福知山市）、大地洋次郎（同）

**奨励賞**【書】大槻裕子（味方町）、岩瀧直子（福知山市）、浦井八千代（宇治市）【洋画】松本空（宮津市）【日本画】立身薫（福知山市）【写真】若田千賀子（私市町）、塩見博之（位田町）、鉄川重利（高津町）、村上正美（味方町）、植村真弓（福知山市）、大内節子（同）、岡本晃一（同）、藤理忠則（同）、横田市郎（同）、築山忠則（京丹波町）、廣瀬誠（同）